



# 秋厚労ニュース

## リハビリ

# 経営者に質問状

## 16日まで回答を

2年前のリハビリに対する経営者の強権策（業務命令）が、「経営者への不信感」という形で全職種にキズ跡を残しています。そのこともあって、秋厚労は、リハビリに関する現時点での「質問」をまとめ、経営者に提出しました。

## 経営者の強権策が全職種にキズ跡残す中

経営者は、2014年1月4日、秋厚労に「休日日リハビリを実施した場合に、時間外手当ではなく、振替休日に対応したい」旨を申し入れてきました。その後、団体交渉（5回）など1年間話し合いを重ねましたが、決裂。経営側は、2015年10月6日、秋厚労及び各病院に対して「リハビリテーション科業務に関する方針について」と題した文書を通知。11月から「休日日リハビリ」実施の業務命令を発しました。

### 経営者への不信感増

秋厚労は、この強権的なやり方について、「労使のキズ」として残り、秋田県厚生連にとって大きなマイナスになっています。現に、昨今、他

職種から「経営者はリハビリと同じように業務命令という形で強行してくるのではないか」などの発言も目立ち、働く側が経営者に「不信感」を抱く要因の1つになっています。

そこで、発端から3年が経過した今日、「秋厚労リハビリ担当者会議」の力も借りながら、7項目の「質問」をまとめ、去る11月6日、「回答」が待たれます。

### 医学と経営が競合

今日の医療現場は、「医学的視点」と「経営的視点」がしばしば競合し、スタッフを苦しめています。リハビリ問題も本質はそのあたりにあり、質問内容がその「苦しみ」を象徴しています。締め切りは11月16日。「回答」が待たれます。

秋厚労発第30号  
2017年11月6日

秋田県厚生農業協同組合連合会  
代表理事理事長 小野地章一様

秋田県厚生労働組合  
中央執行委員長 中村悟

### リハビリテーションに関する質問

土曜日のリハビリ実施と、振替休日に関して、経営者は「業務命令」という形で強行しました。秋厚労は、この強権的なやり方について、「労使のキズ」として残り、秋田県厚生連にとって大きなマイナスになっていると考えています。

事態から3年を経た今日、下記の項目に関して、経営者のお考えを文書で回答いただきたく、質問をさせていただく次第です。なお、ご回答は、11月16日までにお願いいたします。

- 2015年(平成27年)3月21日他数回の団体交渉において、経営者は、土曜日のリハビリについて、「必要に応じて土曜日に出勤」と主張していました。しかし、現状では、トップダウンで全病院「土曜出勤」が指示されており、現場には選択の余地はありません。経営者の言う「必要に応じて」の「必要」とは何なのか、機能が異なるはずの各病院が「必要」と判断した経緯・理由・内容について、病院ごとに、具体的にお答えください。
- 過去の団体交渉等の場で経営者は「365日リハビリは考えてない」と発言しています。しかし、2017年7月8日、秋田県農村医学会において、大曲厚生医療センター・三浦雅人院長は「うちは365日リハビリをしようと考えていますが・・・」という発言をしました。発言の真偽について、ご説明ください。
- 秋厚労が全病院のリハビリスタッフに行った調査等によれば、カルテ管理やカンファランスなど「治療以外の仕事」には、1日平均100分～120分を要することが判っています。この時間を所定労働時間から差し引き、スタッフが定時に仕事を終えるには、1日何単位が妥当だと経営者は考えているのでしょうか。具体的にお答えください。
- リハビリの平均単位数が極端に多い病院について、明らかに時間外労働が発生しているはずですが、すべからく時間外手当を支給しているのか、また、適切な労働管理が行なわれているのか、過去3年前に遡り、実数を示してお答えください。
- 業務管理シートに関して伺います。
  - 「半日勤務」や「休日」の取り扱いはどのようになっているのでしょうか。
  - 同シートでは、技師1人の指標を「平均16単位」としていますが、管理業務を行っている職場長も含まれ、その分、平均値が下がります。これについてどのように考えているのか、具体的にお答えください。
  - このシートに入力した内容は、スタッフの個人名を添えて本所に報告される仕組みになっています。個人名は不要であると思われそうですが、どうお考えでしょうか。
- リハビリに関する診療報酬の算定は、今後、DPC制度に包括される可能性が高まっています。現状の「土曜日勤務」でさえスタッフの負担が大きく、仮に「365日リハビリ」ともなれば、職員数を大幅に増やす必要がありますが、経営的な面で、どのような試算を用い、どのくらいの利益を見込んでいるのかをお答えください。
- 私たちは、経営的な判断が前面に出てくるようなやり方ではなく、現場スタッフが医学的に必要だと判断した患者さんに対して、必要なリハビリを施行することが「真の患者サービス」であると考えますが、経営者のお考えはいかがでしょうか。